

部 △先週は柳川 △大会前、本紙紙

ス 高校男女テニス 面で紹介するため

二 部の戦いに興奮 選手たちを取材。大

テ した1週間だっ 会に懸ける熱意、競

高 た。全国選抜高 技に取り組む真剣さ

川 校テニス大会に を聞き、頭が下がる

柳 出場した同校テ 思い。しかしカメラ

が 二ス部は、男子 を向ければ、照れた

準 優勝、女子はべり、ふざけ合ったり

ス ト8入りと と高校生らし

活 躍。手に汗 い一面も見せ

握 る試合展開 てくれた。

も 多く、気に △大会本部

な かって仕事か から送られて

な かなか手に きた試合結果

付 かなかつ を眺めている

た。 と、選手たち



▽男子の決勝と女の顔や語ってくれた

子の準々決勝はもつ 思いがよみがえる。

れ、勝負の行方は両 悔しい思いもあるだ

主将、堀凌輔選手と ろう。しかし、夏を

原田瑚乃美選手の手 見据えて前を向いて

に。最後の要として ほしい。彼らのさら

の両選手の意地の戦 なる活躍に期待し、

いぶりには、胸を熱 一層のエールを送り

くさせられた。 (栞)